

【編集発行】
五日市活性化戦略委員会
まちづくり通信チーム

【市民有志のみなさま】



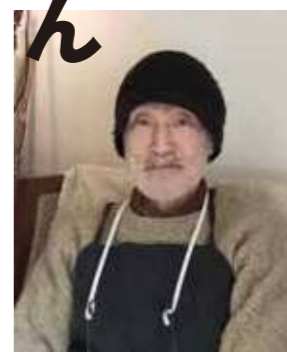
記者T 記者S 記者P 五日市高校 ESS国際交流部

五日市で起業しました！

〜2020年12月20日オープン〜

『古道具ニコニコ堂&ギャラリー月ノ光』さん

ニコニコ堂のマスコット、
おだのモンキー「ニコる」の
キャラクターグッズ



静かな佇まいの店主の
長嶋康郎さん

JR武蔵五日市駅前

『紅茶と珈琲 山猫亭』さん
の建物左側に、真つすぐ2
階へ上がる階段がありま
す。壁に飾られたアンティ



夜には水色の電飾が点滅する
手作りの看板が目印

クの弦楽
器、絵画、
小さな写
真を眺め
ながら2
階へ上が

り、ドアを開けて店内へ。小
さな物から大きな物まで、
所狭しと陳列された古道
具達がぎっしり。ここは、ジ
ヤルはこだわらず、諸道具
全部を扱うリサイクルショ
ップ、古物よろず屋、ニコニコ
堂さん。縄文土器の欠片、
食器、タンス、ラジオ、掛け
時計、昆虫の標本……。どん
な物があるのか、とにかく

のぞいて見て欲しいです。
ニコニコ堂店主の長嶋康
郎さんは、国立駅北口で42
年間古道具屋を営んでお
られました。2019年の
春に五日市へ移住され、国
立へ通勤しながらテナント
探しをされていました。そ
して、現在の物件に出会い、
晴れて昨年末、開店へ。
古道具とのコラボで、階

段と奥の部屋の壁に、掛け
るタイプ(絵画などの創作
物)の展示も募集していま
す。この壁面貸しギャラリー
についての期間、賃料はご相
談で。買い取り、引き取りも
ご相談で行っております。
最後に、心に残った長嶋
さんの言葉をご紹介しま
す。「超消費社会では、手間
が生きる喜びにならなくな



店内の様子。所狭しと陳列された古道具達がぎっしり。
きつと行く度に発見があるでしょう

った。壊れた物を直す
ことは物が嫌いな人は
しないだろう。直に物
と接することができ
ると対話がある。お客
さんから『これは何に
使える?』と聞かれ
る。実用でなくても、
人に必要な物はいっぱ
いある。例えば、自分

の母親が50年持っていた、
という物の付加価値は世界
中何処を探しても無い。物
には造形美というものがあ
り、良い物はレイアウトする
だけで存在感がある。」
もう一度、持っている物と
自分について考えらえる
場所に出会えた、そんな
気がしました。



古道具ニコニコ堂&Gallery月ノ光

【住所】あきる野市館谷220-1-2F
【電話】090-5410-4449
【営業時間】10:30~18:30
【定休日】月曜日



↑ Twitter

※毎月5日は五日市ひろばにて骨董市「ふるもの市」に出店の為お休み。他露店出店日は臨時休業致します。
ツイッターにてお店情報を告知。@niconicodoh

五日市高校OBでもある

映画『五日市物語』の監督
小林仁さんと交流をしました!



私 たちは、我が五日市高校の卒業生であ
り「五日市物語」の監督である小林仁
さんとお会いしました! 私たち高校生が作成した
ESS国際交流部版の五日市物語や地域の訪
日外国人向け観光動画を見て頂き、意見やア
ドバイスをもらったり、インタビューをしたりしま
した。私たちでは気づくことのできなかつた点や工
夫の仕方などを教えてもらいとても勉強になり
ました! いただいた意見は動画に反映し、より良
いものにしていきたいと思ひます。

ESS国際交流部制作の
訪日外国人向け観光動画
「ONLY ONE ITSUKAICHI」→



①小林さんが監督になったきっかけ

高校の文化祭で8mmフィルムの
映画を作ったこと。

②監督のやりがい

完成した映画を見たお客さんが心から泣
き笑ったあとの劇場から出てくる瞬間。

今回小林さんとお話をして、小林さんはとても五
日市が好きなのだと思いました。私たちが負け
ないぐらいの愛を持って活動していきたいです。

お店探訪♪ ヒマラヤ山麗直送、手染め手織の織り物

真木テキスタイルスタジオ／竹林shop・竹林cafeのご紹介



留原に竹林shopが開店して15年、年8回ほど1週間に渡り催されるイベント時は都内、近隣から来るお客様で賑わっている。会長の田中ぱるばさんは長野県上田のご出身。留原にお店を開く前は青山でお店を開いていましたが、1999年に今の母屋の改装に着手(築200年ほどの建物)。

店名である真木は会長のぱるばさんと一緒にお店を立ち上げた真木千秋さんから付けたとの事。当初はインド首都デリーに工房があったが、インド人のデザイナーさんとの出会いもあり、インドヒマラヤ山麗にガンガマキスタイル工房を3.4年前に建設。染料の元となる植物を育て、蚕を



ストール、ワンピース、パンツなど種類も豊富に揃い、使い込むほど風合いや光沢が楽しめる

育て、紡ぎ糸にし染料、手織で布地を作り衣類やストール等の小物を製作している。特徴はタッサールシルクやさんと言われる野蚕やさんと呼ぶ野生で繭を作る絹糸昆虫の手紡ぎ糸を使っている事。光沢や風合いがとても美しい。



会長のぱるばさん

竹林cafeはイベント時にオープン。ランチプレートやインド人シェフによる本格カレーも頂ける。こだわりコーヒー店のコーヒー、スイーツも美味。また竹林shopは通年営業、一期一会の出会いがあるかもしれない。是非お店に足を運びお手に取って欲しい。



イベント毎に変わるこだわりのスイーツ

【住所】あきる野市留原704
【電話】042-595-1534
【竹林shop営業】11:00～17:30
【定休日】月曜日、火曜日



※竹林cafe、イベントの詳細はホームページをご確認下さい。↑

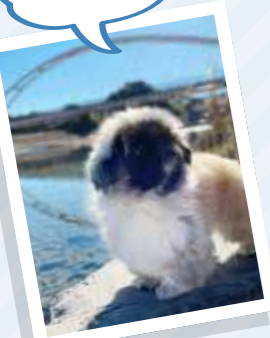
編集長・ポン太のひとりごと

「鬼は～そと、福は～うち」皆んなの家はやったかな？ ボクの友達に心の優しい赤鬼さんがいるから鬼は～そとはちょっと寂しいんだ。だからボクは赤鬼さんと一緒に歳の数だけお豆を食べたんだよ。木の芽もだいぶ大きくなって、陽だまりの

福寿草も黄色の帽子でとってもオシャレしてた、そして冷たい空気とポカポカ空気に梅の香りをトッピングした風がそろそろ吹く頃だ。次号のまちづくり通信はテイクアウト特集だって！ 耳寄りなお店の情報あったら教えてほしいな (｡)

五日市まちづくり通信

キレイな空！



完全無添加&天然素材を使用し、自分で成分を選び、自分で作成するのが特徴のフルフリの基礎化粧品。肌に優しく、素材にこだわる商品を製造・販売しているのが、杉さんはもともと化粧品に興味があるのだと思っていました。ところが、きっかけは会社員時代、知り合いが作成した化粧品の販売を頼まれたからとのこと。基礎化粧品とファンデーションの違いもわからなかった杉さんですが、そこから猛勉強。起業を考

五日市で理想の暮らしと働き方を見つけ、「今が一番幸せ」



杉拓也さん。持っているものは、この冬のイチオン商品「3つの香りのボディクリーム」

限界集落を訪れ、そこで衝撃を受けます。支援から取り残された地域はさぞや大変なことになっているだろうと思って行ってみたら、40人ほどの集落の人たちが皆で協力し合い、思ったよりも明るい雰囲気です。生活してました。持参した支援物資も、「うちらはいいから町の人にあげてくれ」と。自分たちでできることは自分たちで何とかしようとする自助の姿勢に感動した

そうです。それをきっかけに、コミュニティの重要性を実感し、あきる野に引っ越してきました。そして、週3〜4日働き、残りの時間は自分の好きな活動をする時間に充てるという、ワークライフ・バランスを実現させるに至りました。五日市で理想の暮らしを見つけた、「今が一番幸せ」という杉さん。縁あって養沢に自宅を設け、取材の日も大勢の方が集まり、温かいコミュニティが出来上がっていました。

「オーガニックコスメ・フルフリを製造・販売」理想の生き方を見つけ、五日市で日々の暮らしを楽しむ杉拓也さん



↑ おうちの前で火を囲みながらミーティング。いつもたくさんの仲間が集います。

フルフリホームページ→ <https://www.furu-furi.com/>



掲載記事募集中！
ご意見、ご感想お待ちしております。
E-mail/machitsuku.itsuka@gmail.com→



SNSでも情報発信中！

最新情報はFacebookで、過去の記事はnoteで→

